

JR 播但線 WT 検討結果報告書（案）

<p>現状・課題 (路線の特性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市の至近距離にありながら、通勤通学等日常活動における地理的優位性を生かし切れていない ・速達性、快適性に課題があり、鉄道を積極的に選択する要因に乏しい ・日常利用・観光利用を促す交通事業者の連携が不十分である ・国土の骨格をなす重要路線でありながら、国の関与に乏しい
<p>利用促進策の 検討の方向性</p>	<p>利用促進策として次の5つの項目に取り組む。これらの取組を進めていくにあたっては、WTを継続し、取組ごとの役割分担等の詳細を検討・協議する。また、具体化する取組についてはPDCAサイクルを回し、その実効性を高めていく。合わせて、国に対して播但線の意義、活性化への積極的な関与を求めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 幅広い世代の積極的な日常利用を促す取組みの推進 (2) 駅周辺の利活用やコミュニティの場の創出等活性化方策の検討及び実施 (3) 観光客の移動手段や観光PRなど利便性向上策の検討及び実施 (4) 兵庫DCや万博を契機とした観光利用者数の増加に向けた取組の推進 (5) 地域の発展にも繋がる地域公共交通体系の構築
<p>利 用 促 進 策 (案)</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 幅広い世代の積極的な日常利用を促す取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・定期券の購入補助、特急料金補助、列車利用者補助 ・学生へのチケットレス特急券利用の周知 ・駅活性化事業補助 ・列車利用を想定した会議やイベント開催や公共交通をみんなで守る意識啓発など、列車利用への意識醸成 ・親子で列車を学ぶイベント、体験乗車 ・列車利用での買い物ツアーやウォーキングツアーなどのイベント実施 ・自然、歴史、文化を訪れるハイキングツアー実施 ・住民の意見集約・発信・意見の反映 (2) 駅周辺の利活用やコミュニティの場の創出等活性化方策の検討及び実施 <ul style="list-style-type: none"> ・道路の舗装や駐車場整備など駅周辺の環境整備 ・駅舎の装飾や作品展示 ・キッチンカー誘致など、駅前の賑わいづくりイベント開催 (3) 観光客の移動手段や観光PRなど利便性向上策の検討及び実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードの導入/IC導入駅の拡大/キャッシュレス決済 ・車内等での外国語アナウンス (4) 兵庫DCや万博を契機とした観光利用者数の増加に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・WESTERへの情報集約 ・レンタサイクルを利用したインバウンド向けツアー ・駅ごとの企画など地域の魅力再発見リレーイベント (5) 地域の発展にも繋がる地域公共交通体系の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・列車とバスの相互利用 ・レールパスの適用拡大に向けた確認 ・二次交通の充実(コミュニティバスダイヤの見直し、シェアサイクルの導入、トゥクトゥク等の導入)